

●学内選考(大学で取りまとめの上、募集元へ申請します。希望者は大学まで申請してください)

財団名称	募集対象	応募方法	募集人数	貸与または給付	金額	応募用紙入手・リンク先	学内提出期限	提出方法	学内指定提出書類	注意点
9	公益財団法人辰野環境財団	(1)将来、地球環境問題解決に寄与し、社会貢献を目指す3年生(学部不同・大学院生は対象外・外国人留学生も応募可) (2)学業・人物ともに優秀かつ健康であり、経済的支援を必要とする者 (3)当財団が要請するレポートや給付期間中の成績証明書等の提出ができる者	学内選考	全国:15名	給付	月額30,000円	2025募集要項 	学内締切:2025/4/18(金)	郵送(必着)	チェックリスト(辰野環境財団) 【必要書類】 ①奨学生願書(手書きによる) ②在籍校の推薦書 ③在学証明書 ④直近年度の成績証明書※GPAの記載がない場合は、在籍校にて別途GPAを算出していただき、算出根拠と算出したGPAを記載したものを、成績証明書と合わせてご提出ください。 ⑤課税(所得)証明書※収入、所得、控除、課税額が記載されている証明書で、現時点で取得できるもの。なお、学生が属する世帯において主として生計を立てている方の証明書をご提出ください。 ⑥世帯全員分の住民票の写し(原本)発行日から3か月以内であり、続柄の記載があるもの 本籍地又は在留資格等の記載があるもの ⑦小論文「世界において、大量生産・大量消費による経済活動や急速な人口増加による地球温暖化、生物多様性の劣化、海洋汚染など、様々な環境問題が拡大してきている。それに対応するため、社会全体として持続可能な開発目標(SDGs)や脱炭素社会を目指す動きが見られる。皆さんが取り組んでいる学問も俯瞰してみると、分野に拘わらず何らかの形で環境問題の解決に係わっている。」こうした状況を考慮し、皆さんが『学んでいる、あるいは学ぼうとしている研究は、どのような形で環境問題の解決に関係しているか』をテーマとした小論文を作成して下さい。(A4用紙2枚程度、フォントサイズ10.5)
8	公益財団法人中董奨学会	①2025年4月1日現在、年齢が30歳未満の方 ②2025年4月1日現在、学部3年生または大学院1年生(修士、博士課程間いません) ③学業優秀、品行方正、心身ともに健康で、経済的な理由により学資の支弁に困難している方 ④就学及び生活状況を当会 SNS で毎月報告、年度末に当会指定の書類提出ができること ⑤他機関の奨学金受給中、または申請予定でも応募できますが、併用不可の奨学金を受給中または申請予定の方は、当会に応募できません ⑥留学予定の方は応募不可(海外留学を目的とした奨学金ではない為) ⑦奨学金は最長2年間支給、お一人1回限り、学部→大学院、修士→博士の進学は対象外となります ※当財団の奨学生に過去採用実績のある方、またはそのご家族の方は対象外 ※Only for the Japanese students.	学内選考	本学推薦枠:1名	給付	月額50,000円 (最長2年間)	(指定校願書はこちら)→ https://www.kaiyodai.ac.jp/uploadfile/7156a2df9b61257bbad117dfdc0f8b59dd901660.xlsx (小論文・推薦書財団書式はこちら)→ https://www.nakashima-foundation.org/scholarship/ 	学内締切:2025/4/11(金)	窓口・郵送(必着)	チェックリスト(中董奨学会) 【応募書類】 ①中董奨学会 指定校願書※(財団書式) ②小論文「ご自身について」※(財団書式) ③指導教官推薦書※(財団書式) ④在学証明書(学校書式、直近のもの) ⑤学業成績証明書(学校書式、直近のもの) ※4月より編入学の方は編入する大学の在学証明書と前校の成績証明書を提出。 ※その他義務・注意事項を必ず下記URLより募集要項を確認してください。 https://www.nakashima-foundation.org/scholarship/pdf/bosyu_youkou.pdf
7	全日本海員組合奨学金 (All Japan Seamen's Union Scholarship)	下記の学科等に所属し、船員になろうとする意思の強い者 ・海洋工学部:海事システム工学科・海洋電子機械工学科・乗船実習科 ・海洋生命科学部、海洋資源環境学部、海洋科学専攻科 ※Only for the Japanese students.	学内選考	若干名	貸与	月額10,000円または月額16,000円から選択	http://www.jsu.or.jp/member/scholarship/ 	2025/4/30(水)	窓口・郵送(必着)	チェックリスト(全日本海員組合) 貸与期間:奨学生に決定した時から学校の修学年限の終期(乗船実習科含む)まで ※再申請手続き:奨学生である人が本科などの現行課程を卒業して新たに入学手続きを必要とする学校や課程に進学する場合(専攻科への進学含む)は改めて申請手続きを必要とします。ただし乗船実習科は再申請の必要はありません。 貸与方法:学校の指定口座に送金し、学校長を経由して貸与。 ※応募書類については、(品川)学生サービス課 奨学係窓口、(越中島)学生支援係窓口に取りに来てください。
6	東京海洋大学近藤記念海事財団 (TUMSAT Kondo Marine Memorial Foundation)	学部(2年生～4年生)、博士前期課程1年生～2年生、博士後期課程1年生～3年生、海洋科学専攻科、乗船実習科 (1)海事に関する業務に従事しようとする者 (2)学業成績及び人物が優秀である者 (3)健康である者 ※ Only for the Japanese students.	学内選考	1名	貸与	月額40,000円(学部、海洋科学専攻科及び乗船実習科) 月額70,000円(大学院)	https://www.kaiyodai.ac.jp/campuslife/upload-file/741a81bb7b3485f694ce6a1a13b675b4b217cb8.pdf 	学内締切:2025/4/8(火)	窓口・郵送(必着)	近藤記念海事財団願書

	財団名称	募集対象	応募方法	募集人数	貸与または給付	金額	応募用紙入手・リンク先	学内提出期限	提出方法	学内指定提出書類	注意点
5	公益財団法人 海技教育財団 (Marine Academy Foundation)	2025年度入学準備金貸付制度 ・2025年4月に海洋工学部海事システム工学科または海洋電子機械工学科に入学が決定している者 ※ Only for the Japanese students.	学内選考	7名	貸与	貸与額: 10万円、20万円、30万円、40万円、50万円のいずれか選択	https://www.kaiyodai.ac.jp/campuslife/upload-file/aeaa6c09583a12592c8e6223a29a8384c86da27.pdf 	第1回: 2025/3/10(月) 第2回: 2025/3/28(金)	窓口・郵送(必着)	本学指定提出書類	越中島地区のみ募集 https://macf.jp/scholarship-2/ ダウンロードファイルから応募用紙入手
4	公益財団法人JPC奨学財団	(1)2025年4月1日現在、大学1年生及び大学院1年生(修士課程又は博士前期課程)であること (2)日本国籍を有すること (3)2025年4月1日現在の年齢が30歳以下であること (4)学業、人物ともに優秀であり、健康であること ※ Only for the Japanese students.	学内選考	全国: 17名程度	給付	月額40,000円 学部生は4年次修了時まで(最長で2029年3月までの4年間)、大学院生は2年次修了時まで(最長で2027年3月までの2年間)	https://www.netipc.com/company/scholarship/ 	学内締切: 4月25日(金)	窓口・郵送(必着)	本学指定提出書類	他団体等から奨学金を受ける場合であっても応募は可能ですが、選考にあたっては他の奨学金の受給状況を考慮します。また、併給を希望する場合、奨学金支給団体によっては併給を認めない場合があるので注意してください。
3	公益財団法人 北野生涯教育振興会 (Kitano Foundation of Lifelong Integrated Education) <ライフシフト奨学金>	・日本国籍を有していること ・在学する学校長、学長、研究科長、専攻長または指導教官等の推薦する方 ・心身ともに優れている方 ・社会人として就労経験が3年以上(通算)あること ・指定大学2年次在学、当該年度編入・学士入学として3年次に在学、または指定大学院修士課程1年次に在学し、いずれも原則として2025年4月1日において45歳以下の方 ・収入要件: 給与収入世帯の場合: 世帯合計収入1000万円未満 給与収入以外の世帯: 自営業等その他収入500万円未満※就学のため休職または退職し収入が減少する見込みも可(要エビデンス) ・年1回の奨学生交流会への出席 ※ Only for the Japanese students.	学内選考	本学推薦枠: 1名 (全国: 15名程度)	給付	学部2年~4年: 月額60,000円 3年間(3年編入者などは2年間) 博士修士課程1年次: 月額70,000円 2年間	https://kitanozaidan.box.com/s/36x3ft5epcid0cstf44vssagvlvcx6 	学内締切: 2025/5/9(金)	窓口・郵送(必着)	本学指定提出書類	他の財団、民間団体等の奨学金との併給は認めません。(公的支援、日本学生支援機構の奨学金、ならびに在籍する大学が独自に設定している奨学金【授業料免除など】は併給可)
2	公益財団法人 上野教育文化財団	海技系大学、海技系大学校、水産大学校の新3年生(2025年4月現在)で次の各号のすべてに該当する者 (1)船員教育機関や水産系学術機関に在学し、3級以上の海技士を目指す学生であること (2)高い志をもち、学業が優れ、品行が正しく、かつ、健康であること (3)親権者(または未成年後見人等)の同意を得ていること (4)本人及び生計を一にする家族が、暴力団、暴力団関係企業、総会屋もしくはこれらに準ずる者またはその構成員ではないこと	学内選考	全国: 15名程度	給付	月額20,000円を毎年6月及び10月に半年分ずつ振込給付(就学目的以外には使用できません)	https://www.uecf.or.jp/scholarship/guide 	学内締切: 2025/4/11(金)	窓口・郵送(必着)	本学指定提出書類	選考にあたり、当財団の趣旨として特定校の学生に集中せず各校の学生を平等(応募者のうち3名まではこれまでどおり原則採用)に採用できるよう配慮する。総応募者数が募集人数を超える場合は、応募者の多い学校の学生について成績を主とした基準に基づき選考委員会にて選考する。
1	公益財団法人 G-7奨学財団 (G-7 FOUNDATION)	■日本国内の大学又は大学院に在籍し(ただし通信制大学及び夜間大学は除く)、学業優秀かつ学修意欲があり、将来社会的に有益な活動を目指す者であって、学資の援助をすることが必要であると認められること。 ■日本国籍を有していること。 ■他の奨学金制度との併用・併願は可能です。(ただし、支給額を調整することがあります。) ■海外留学の場合は、留学期間中の単位が国内在籍大学の単位とみなされること。(休学し、海外留学を行う場合は要件をみたまないものとします。) ■学力基準: 学部1年生 高校3年間評定値が4.0以上、学部2年生以上 直近1年間の標準GPA3.1以上 ■家計基準: 財団HPをご参照ください ※ Only for the Japanese students.	学内選考	全国: 件程度(後報)	給付	年間上限1,200,000円	https://g-7foundation.or.jp 	R7年度新入生: 2025/4/11(金) R7年度新入生以外: 2025/4/4(金)	窓口 郵送(必着)	本学指定提出書類	